

一般社団法人大昔調査会（高見俊樹理事長）は、諏訪地方の縄文時代の土器・土偶と遺跡を訪ねるウォーキングガイド本「あのスゴイお宝が出たのはココです」の詳細解説付き完全版を発刊した。計18点の土器、土偶を採り上げ、出土した現地に立って当時に思いをはせ、実感を楽しんでもらうための“手引書”。2020年から発刊し、大好評を得たガイドブック3冊をまとめ、詳細解説を加えた「最高合体版」という。諏訪地方の博物館や美術館、書店などで1冊税込み800円で販売している。

（日比野真由美）



# 「あのスゴイお宝が出たのはココです」 最高合体版」発刊

大昔調査会

諏訪地方の土器・土偶  
遺跡を訪ねるガイド本

土器、土偶を一点ずつ、同調査会のメンバーと所蔵する各博物館の学芸員がその見どころを分かりやすく説明した内容。各冊ではQRコードを読み取った携帯端末でしか読めなかった「さらに詳しい解説」を計36ページ分新たに掲載した。

同本のもう一つの特長は、それらが出土した遺跡の場所を明確に表し、一帯の遺跡を歩いて巡るコースを地図で紹介している点で、「出土品は博物館での見学にとどまる人が多いが、出土した場所に立って初めて分かることも多

「最高合体版」と胸を張る縄文ガイド本を発売

い。『かつてここに生きていた』と感ずることも考古学の醍醐味」とする。

学芸員、研究者が有する専門性の高い見識に裏打ちされつつ、ユーモアあふれる内容は「よくみるととても楽しい、歩いてみると10倍楽しい本。絶対の自信をもってお勧めする」（高見理事長）と胸を張る。3冊分を1冊にまとめて携帯性が高まったことに加えて、「縄文時代、文化の多彩さ、豊かさを改めて感じる事ができる」ともいう。

A5判、フルカラー、全120ページ。問い合わせは各書店、諏訪地方各市町村の博物館、美術館へ。